

四條躰市教育委員会ニュース

内容：平成29年度NRT結果

(学校教育課)

全国標準学力検査（NRT）～取組みの成果が出ました～

実施日：平成29年4月

対象学年：小学校4・5・6年生

中学校1・2・3年生

実施教科：小学校→国語・算数・理科

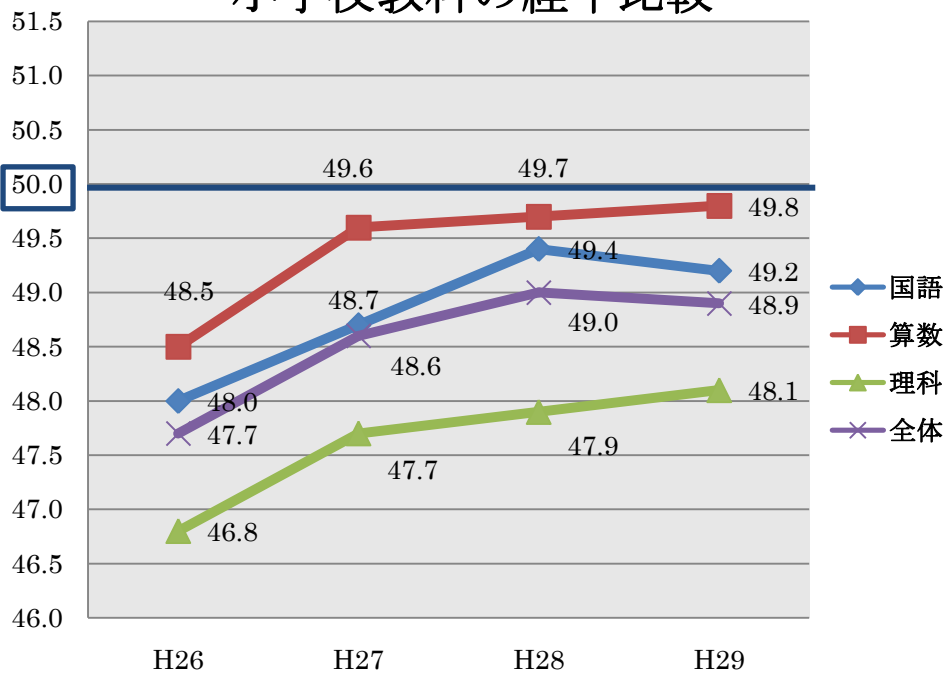
中学校→国語・数学・理科・社会・英語（1学年は除く）

1. 小・中学校の経年比較

(1) 教科ごとの学習状況の推移

このグラフは、平成26年～平成29年度の教科の偏差値の変化です。小学校は4年～6年、中学校は1年～3年の各教科の偏差値の推移です。小学校、中学校とも、四條躰市児童・生徒学力向上3ヶ年計画に基づくこれまでの取組みの成果が見えてきました。

小学校教科の経年比較



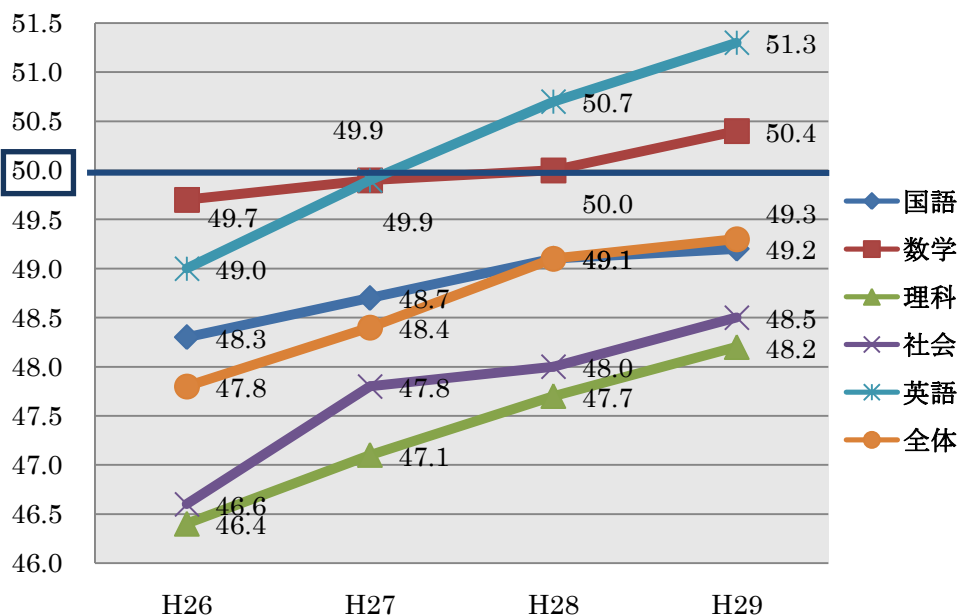
小学校のグラフでは

○どの教科も平成26年度に比べて結果が良くなっています。全体として、取組みの成果が表れています。

○特に平成29年度の算数は全国平均値にあと少しで到達します。

▲平成29年度の国語は昨年度より偏差値が下がってしまいました。その結果、全体の偏差値が昨年度より0.1ポイント下がってしまいました。国語科として、「身につけさせたい力」を明確にした授業改善を引き続き取り組んでいくことが大切です。

中学校教科の経年比較



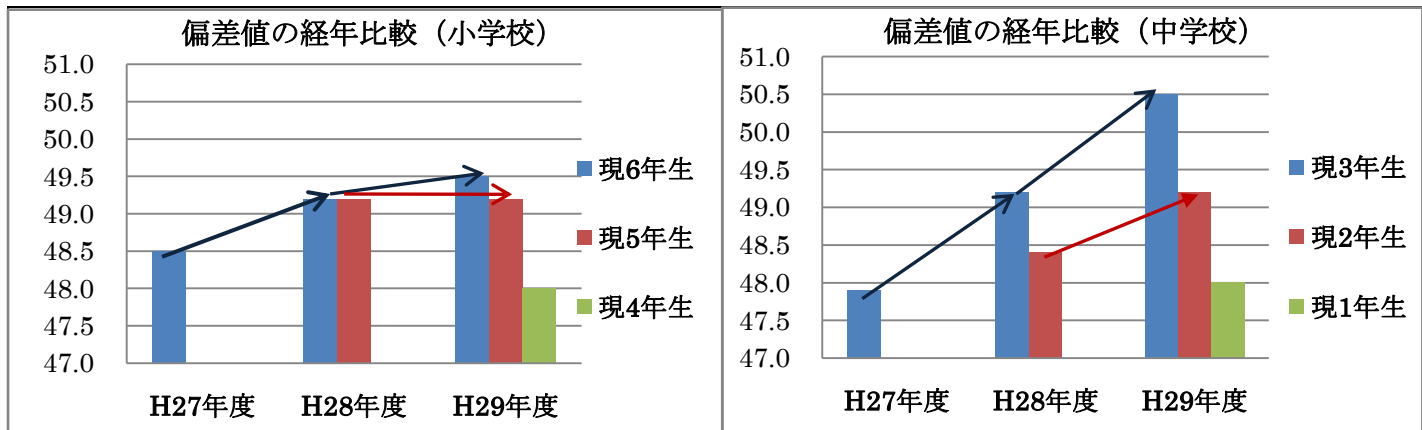
中学校のグラフでは

○どの教科も平成26年度に比べて結果が良くなっています。全体として毎年偏差値が上昇し、取組みの成果が表れています。

○平成29年度の英語と数学が全国平均値を上回っています。

○平成26年度から平成29年度にかけての英語と社会、理科の偏差値の伸びが目立っています。英語は4年間で2.3ポイント、社会は1.9ポイント、理科は1.8ポイント上昇しました。

(2) 過去3年間の同一児童生徒の偏差値の変化



小学校のグラフでは

■現6年生は4年→5年→6年とだんだん偏差値が上がっています。■現5年生は4年→5年と偏差値の変化はありません。

平成29年度を見ると、■現4年生→■現5年生→■現6年生と学年が上がるにつれてだんだん偏差値が上がっています。

中学校のグラフでは

■現3年生は1年→2年→3年とだんだん偏差値が上がっています。■現2年生も1年→2年と偏差値が上がっています。

平成29年度を見ると、■現1年生→■現2年生→■現3年生と学年が上がるにつれてだんだん偏差値が上がっています。

2. 調査結果のまとめ

四條畷市では、平成27年度から第2期四條畷市児童・生徒学力向上3ヶ年計画を策定し取組みを進めています。その中で、みんなが「わかる・できる」魅力ある授業づくりに重きを置き、畷の授業スタンダードの確立をめざしています。その効果検証の一つとして、全国標準学力検査（NRT）を平成26年度から小学校4年生～中学校3年生まで実施しているところです。調査結果を分析し、今後の指導に活かしてまいりたいと考えています。

小学校では、先のグラフにはありませんが、5年生と6年生の算数において、偏差値が全国値を上回っています。5年生の理科と6年生の国語・算数・理科が昨年度より偏差値が上がっています。国語と算数においては、4年→5年→6年と学年が上がるほど偏差値が上がっています。

これらは、校内での授業研究が活発に行われたり、研修や先進市視察に参加したりして、教員の授業力が向上してきたこと、反復ドリルなどで継続してパワーアップに取り組んだりしたこと、家庭学習として、学校で学習した内容を復習したり、自分で勉強内容を考えて自主的に勉強する自主学習ノートに取り組んだことの結果が表われたと考えられます。また、学習指導員・学生ボランティアを活用したきめ細かな指導と、学習内容を補完する土曜日、放課後、夏休みのフォローアップ教室の取組みの結果と思われる。

中学校では、全教科で学年が上がるにつれて偏差値が上がっています。例えば、理科の偏差値は1年（46.6）→2年（48.3）→3年（49.8）と年々偏差値が上がり、3年間で3.2ポイントもアップしました。英語は2年生も3年生も「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の偏差値が全て全国平均を上回り、3年生の偏差値（51.7）は全国平均よりかなり高くなりました。

これらは、授業改善による分りやすい授業、ペアやグループ活動を取り入れた対話的な学習、生徒一人ひとりを大切に、生徒の自己肯定感を高める取組み等を行った結果と考えています。

総じて、本市の子どもたちに学力がついてきたと考えられます。要因として、本市が進める「学力向上3ヶ年計画」に沿って、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を担って取り組んできたことの表れと考えられます。それぞれの役割をしっかりと果たし、協力して子どもを育てていくことが、今後も子どもの学力を継続的に伸ばしていくのではないかと考えます。今年度は学力向上3ヶ年計画第2期の最終年度にあたり、昨年度に続いて、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善や、支援教育の観点を取り入れた授業づくりに取り組んでいきます。

（詳しい結果内容は市HPの全国学力・体力調査の結果のページをご覧ください。）



